

中学生連載企画 私たちのふるさと松山学 No.28

西法寺境内の薄墨桜



山中 江里子さん (2年)

伊台・五明地域の文化財の一つに、昭和37年11月5日、市指定天然記念物として指定された薄墨桜が西法寺の境内にあります。一説に、ある天皇(天武天皇ともいわれる)が道後温泉に出掛けられたとき、皇后の病気を治すため西法寺に祈願。そのお礼として、薄墨の繪旨(手紙)に桜の木を添えて贈られたといういわれのある銘桜です。それ以来こ



西法寺境内の気品漂う薄墨桜の木



薄墨桜

旭中学校

おいしい果物が採れ、自然あふれるのどかなまち **伊台・五明**

私たちは総合的な学習の時間に、伊台・五明地域の歴史や特色、魅力について調べました。

ホタルの生態と成長



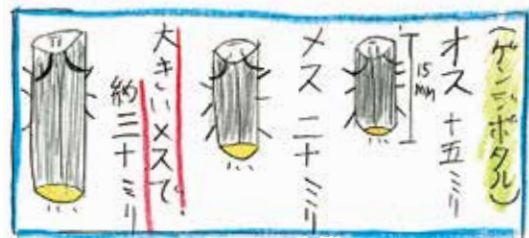
寺本 弥桜さん (2年)

の桜を「薄墨桜」と称するようになりまし。この桜は学名をイヨウスズミといい、ヤマザクラ系の品種です。花径は3センチくらい、花弁は16枚ぐらいの八重咲き、色は白色で微紅をおび、極めて上品です。薄墨桜は、今も昔も変わらず、地域の人に愛され、大切にされています。

伊台・五明地域に生息するホタルの多くは、ゲンジボタルです。ゲンジボタルはきれいな川に生息しているため、伊台・五明地域の川はきれいだといことが分かります。

もぐつて、サナギとなり2週間ほど過ごします。その後ようやく成虫になり、光りながら飛び回ります。成虫の間は、水をなめるだけで、ほかには何も食べません。そして、10日ほどで、一生の終わりを迎えます。

そして、ゲンジボタルはホタルの中で一番強い光を放ちます。大きさは、オスが約15ミリ、メスが約20ミリです。メスは大きいもので30ミリになるものもいるので、オスより大きい場合もあるようです。



ホタルの生態



ホタルの成長

伊台でぶどうを作るわけ

伊台では、約九十年ほど前から、ぶどう作りが行われてきました。伊台は、中山間地域で少し涼しいため、酸味に適しています。そこで、伊台は、高原ぶどう作りが盛んになりました。また、夜の温度差が大きいので、糖度も高くなり、おいしいぶどうが作れます。

ぶどう新聞



竹本 康希さん (2年)

伊台・五明地域では、約90年前からブドウ作りが行われています。この地域は、標高250メートルがもたらす昼夜の温度差が大きく、水はけの良い花こう岩土壌の土地です。夏に雨があまり降らない気候でもあり、味や品質の高いおいしいブドウができる条件がそろっています。

伊台・五明地域のおいしいブドウ



寺井 結彩さん (2年)

地域の良さをみんなに広めたい

身近な所に地域の皆さんに愛され、大切にされている地域ならではの良さがたくさんあることが分かりました。もっとみんなに知ってもらうために調べていきたいと思っています。



(左から) 寺本 弥桜さん、寺井 結彩さん、竹本 康希さん、山中 江里子さん (いずれも2年生)

先人と文化の読み物教材

語り継ぎたい

ふるさと松山百話 I・II・III・IV



松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた教材集です。一話が10〜14ページ程度で、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができ、市立図書館で見ることが出来ます。